

2024年6月15日(土)

## 入笠湿原 (1813 m)

～Report by 高橋(雄)～

クマさん会では毎年のように登っている入笠山。冬が多いが、2020年は6月20日に登り、スズランや、珍しいホテイアツモリソウなどの花が楽しめた。それを再び味わうべく、今年も6月に企画した。

参加者は熊本さん、池戸さん、安部さん、吉松さん、私の5人。

6月15日の土曜日で設定したが、梅雨が気になり、10日前から予報が出る tenki.jp とにらめっこ。6月6日時点で15日の入笠山・富士見町の天気予報は晴れ時々雨。しかし大荒れではなさそうなので決行を決めて案内した。だがその後天気予報はコロコロ変わった。降水確率は20%から80%の間を行ったり来たり。

2日前の13日の予報では、午前中は晴れるが、午後遅くなると雨。そこで、雨の前に早く下山することを検討。今回の入笠山は、湿原の花を楽しむのがメインだ。よって今回は山頂は目指さず、山頂への急登山前のマナスル山荘までで引き返し、早く下山することにした。参加者も入笠山山頂は何度も経験しているし。

下山を早めたので帰りの特急も当初予定の富士見駅 18:01 発から1本早めて16:30 発に急遽変更。

熊本さん、池戸さんと私は前日までに予約変更できたが、安部さん、吉松さんはすでに発券済みだったため、当日富士見駅で変更することにした。

### 【今回のGPS軌跡(ヤマレコ)】

 GPS	 距離	 登り	 下り
02:30	4.7 km	165 m	151 m

地図表示設定

地図出力/その他の機能

アクセスを調べる

my出発地登録



標高グラフを拡大





朝 7:15

新宿発のあずさ 75 号で安部さんが出発。

7:38 に立川から私が乗車

7:47 に八王子から熊本さん、池戸さん、吉松さんが乗車して富士見駅へ向かった。

←9:29 富士見駅手前で甲斐駒ヶ岳が見えた。空は良く晴れている。

9:37 富士見駅着。

安部さん、吉松さんは私とともに駅の窓口で帰りの特急を早める変更手続きをした。

駅前には富士見パノマリゾート行きの無料送迎バス、10:00 発が 3 台待機していた。

熊本さん、池戸さんは帰りの早い特急を既に予約していたため、先に 1 台目のバスに乗り込んだら、乗客が定員になると 10:00 前だがすぐに出発した。

安部さん、吉松さんと私は特急券を変更後、2 台目のバスに乗車。これも定員になると 10:00 前に出発。



10:00 安部さん、吉松さん、私が富士見パノマリゾート着。熊本さん、池戸さんは先に着いてゴンドラの乗車券を手にしていました。安部さんと私はゴンドラチケットを前売りで 711 で購入していたので、空いていた乗車券との引き換え窓口へ。吉松さんはチケットの当日購入の列に並んだ。



10:15 ゴンドラ乗車。

標高 1050m の山麓駅から 1780m の山頂駅へ標高差 725m を上がる、八ヶ岳が良く見えた。



10:30 山頂駅着。

最初に入笠山とは反対側の山野草公園へ。ゲレンデの斜面をちょっと下る。





ドイツズランのお花畑で八ヶ岳バックのスタート写真。



ドイツズランはピークを過ぎたようで、花数もちょうと少ない感じ。  
山野草公園ではいろいろな花が咲いていた。



レンゲツツジ



アヤメ



ニッコウキスゲ



シロバナノヘビイチゴ



ツバメオモト



イカリソウ



サクラソウ



オオアマドコロ



マイヅルソウ



ムラサキツメクサ



イチョウラン



サンリンソウ





数ある花のなかでメインの名物は 釜無ホテイアツモリソウ。



と、キバナアツモリソウ。



この二つとも絶滅危惧種で、入笠山では囲いの中で保護されていた。



11:08  
山野草公園から一旦ゴンドラ山頂駅に戻り、反対側の日本スズラン群生地、入笠湿原へと向かう。





途中にベニバナイチャクソウが咲いていた。

その周辺で咲いていた花。

Google Lenz で調べてみたら、園芸種のような名前が出てきた。自然の山野草ではなく、スタッフが植えたか？



ベロニカ・オーストリアカ？



フランスギク？



サルビア・プラテンシス？



林の中を軽快に下って



11:16  
100万本の日本スズラン群生地。  
入笠湿原に下る木道の途中の斜面だ。





日本スズランは先のドイツスズランよりは  
まだ見ごろではあったが、やっぱりピーク  
は過ぎた感じ。周りの人たちも今年は早か  
ったと話していた。

日本スズランに混じって咲いていた花たち



ササバギンラン



ベニバナイチヤクソウ



ウマノアシガタ



日本スズランの群生地を過ぎるとアヤメと  
ウマノアシガタの群生があった。



11:25 入笠湿原。





終盤ではあったが、白いズミの林や



レンゲツツジの群生があった。



そしてクリンソウも登場！



11:35 本日の目的地、入笠湿原の看板で記念写真を撮った。







入笠湿原を上がったところにあるやまびこ山荘の前には柵で囲まれた花壇があり、そこにもホテイアツモリソウなどが咲いていた。



キバナアツモリソウ



クリンソウ



ギョウジャニンニク



やまびこ山荘から林の中の道を通ってマナスル山荘へ。このルートのためにはクリンソウの群生だ。



11:58

マナスル山荘着。

入笠山への登り口の広場で、空いているテーブルを見つけて昼食。

熊本さん持参の白ワインで乾杯。

安部さん持参のミニトマトもごちそうさまでした。





気温は 17℃。涼しくて爽やか。  
木陰で風にあたりと寒く感じるぐらい。  
東京は 30℃ぐらいで暑いだろう。  
至福のひとつとき。



昼食後

12:25

入笠山山頂までは行かないが、ちょっと登ったところから入るお花畑を巡って下りることにした。



お花畑に入ると早速スズランがお出迎え。



ここのお花畑は入笠湿原より高いので、スズランはちょうど見ごろ。

レンゲツツジも生き生きとしている。  
青空と緑に良く映える。





レンゲツツジに囲まれて。

お花畑で見つけた花



シロバナノヘビイチゴ



ミツバツチグリ



ツマトリソウ



マムシグサ



アヤメ



ハクサンフウロ

帰りは入笠湿原に下りずにやまびこ山荘から湿原の周りの林道を迂回してゴンドラ山頂駅まで戻った。

途中で見かけた花



ミヤマニガイイチゴ



ズダヤクシュ



ベニバナイチヤクソウ



サクラソウ



クリンソウ

クリンソウもあちこちにあった。どうやってふえるのか？実を鳥が食べて糞でばらまく？人が植えた？などと話しながら歩いた。





下りのゴンドラ。  
花々を満喫して満足の笑み。  
まだ晴れて八ヶ岳も良く見えている。  
結局雨に合わずに済んだ。



13:31  
ゴンドラ山麓駅に着き、おみやげに無料の花の苗をもらった。  
何種類かあったが、みんなクリンソウを選んだ。  
来年はみんな花が咲くかな？



入笠山に来た時の温泉は定番で「ユートロン水神の湯」。ゴンドラ山麓駅から歩いて向かう。

13:50 ユートロン水神の湯着。

風呂に入る前に帰りのタクシーを予約すべくタクシー会社に電話した。

帰りの特急は富士見駅発 16:30 なので、温泉で2時間ゆっくりして、15:50にタクシーに迎えに来てもらいたかったが、他の予約が入っていてダメだという。なにしろ富士見駅にはタクシーが2台しかないらしい。もちろん普通車でジャンボではない。こちらは5人なので2台必要。さんざん交渉して、14:45ならなんとか2台回せるとのこと。それしかない。結局温泉の時間は40分となり、あわただしく入った。

14:45 温泉を出て予約したタクシーで富士見駅へ。

富士見駅で特急の時間まで1時間半以上もあるので、居酒屋辺りで一杯やりたい。タクシーの運転手さんにどこかいいところがないか聞いてみた。しかしこの時間はやっている居酒屋はないという。

だが居酒屋ではないが、駅に近いカフェなら営業していて、お酒も飲めるという。即決定してそこで降ろしてもらった。





これが大正解！

店では5人ゆったり座れる大きなテーブルがちょうど空いており、そこを占拠して、まずは生ビールで乾杯。



イタリアンのカフェ&ダイニングだが、料理が結構おいしい。日本酒も飲める。

店の名前は

[「きざしステーション」](#)

富士見駅から100m弱。

予約もできるとのこと、今後の入笠山の帰りにはお勧めの店だ。



16:00 店を出て富士見駅へ。

熊本さんと私はめで山菜そば。

本当は野沢菜天そばが食べたかったのだが、売り切れ。しかし山菜そばも十分美味しかった。



16:30 富士見発の上り特急あずさ44号。

座席を向かいあわせてまた乾杯！。

18:11 八王子で熊本さん・池戸さん・吉松さんが乗換え、18:20 立川で私が乗換え、安部さんはそのまま新宿へと、それぞれの帰途につきました。

梅雨を心配していましたが、結局梅雨入り前で終日晴れ、花三味の入笠湿原、帰りの富士見駅での打ち上げ場所も新しく発見できて満足至極の一日でした。お疲れ様でした。